

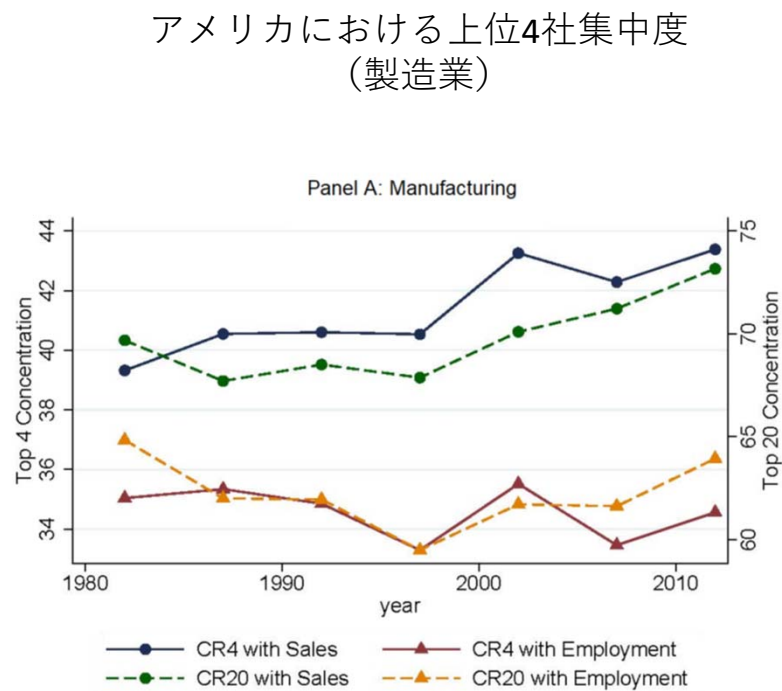
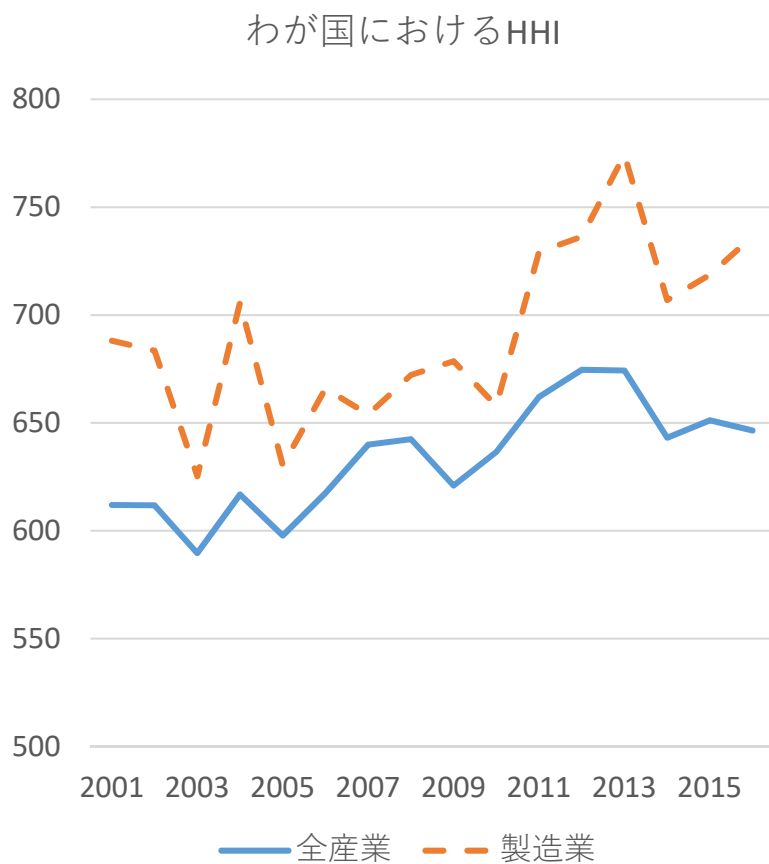
# 第4次産業革命における競争政策

RIETI政策シンポジウム

2020年2月26日

大橋 弘（東京大学）

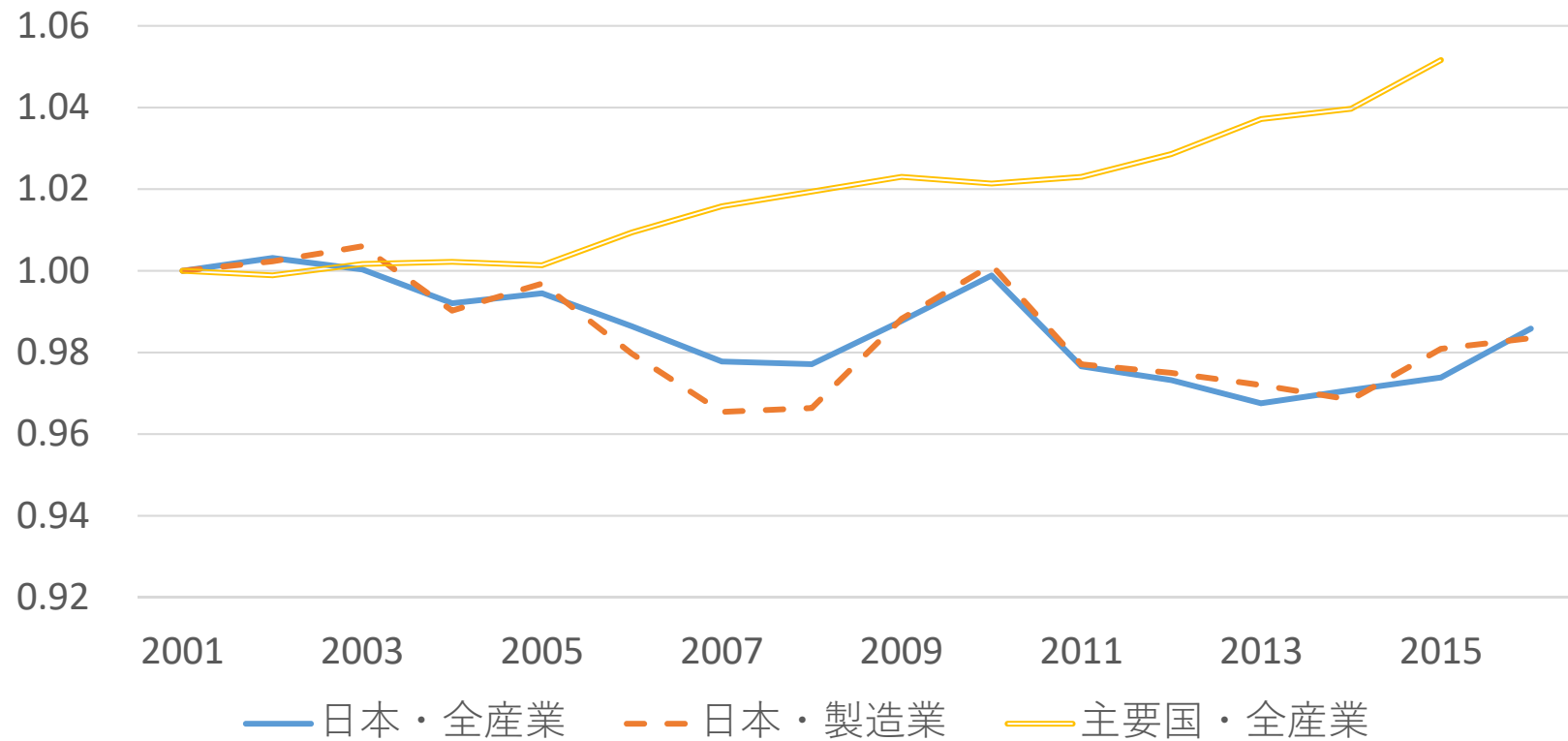
# 集中の進展?



出典: Nakamura and Ohashi (2019, RIETI 19-E-107) Figure A1; Autor, et al. QJE, forthcoming を元に作成

# MKの推移

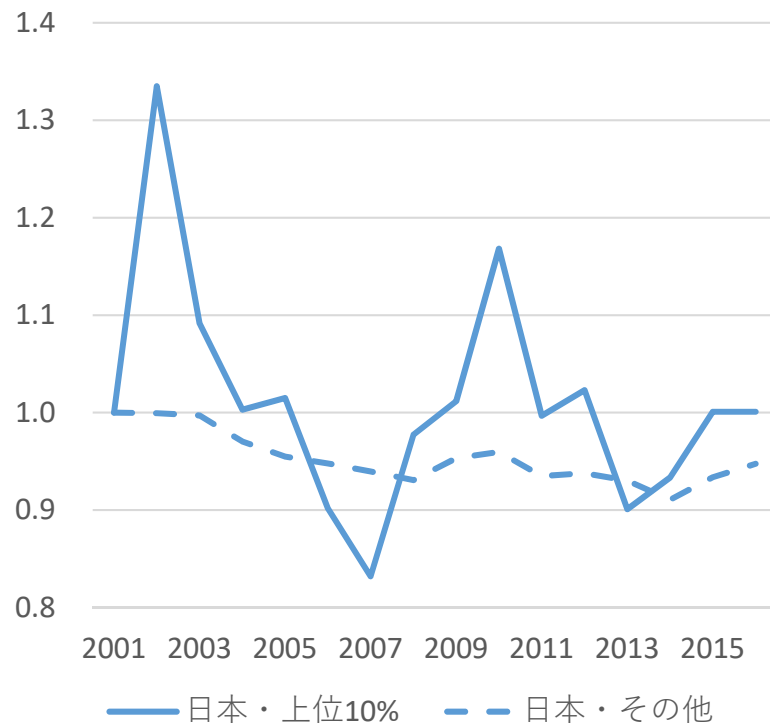
わが国と主要国（2001年 = 1）



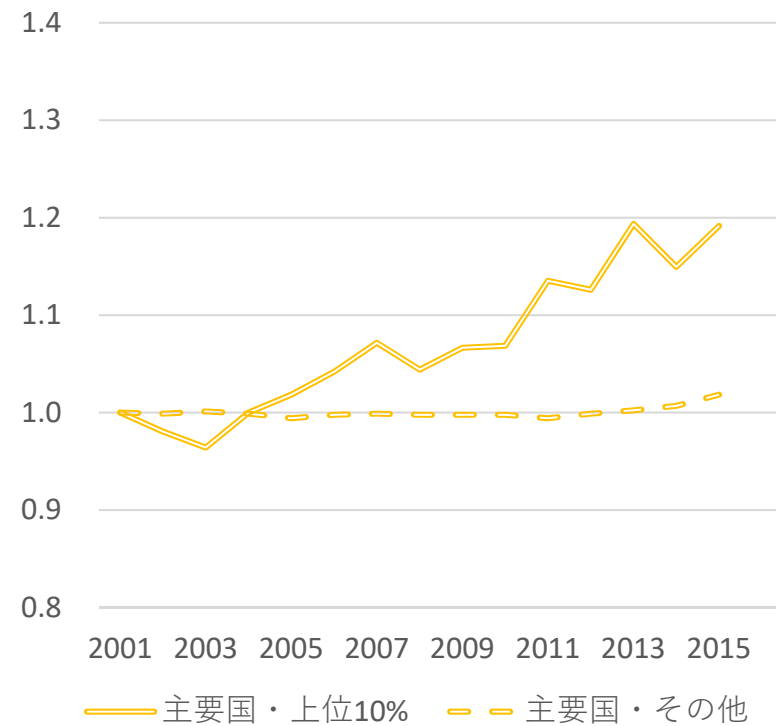
出典： Nakamura and Ohashi (2019, RIETI 19-E-107) Figure 1, IMF (2019) を元に作成

# 企業間格差

高MK企業 vs. その他：  
わが国・全産業・2001年=1



高MK企業 vs. その他：  
主要国・全産業・2001年=1



# IOから見た残された課題：手法と解釈

- 集中度（CR4, HHI）と市場支配力との関係（※ 1）
- マークアップ率と競争阻害（支配・排除）との関係
- 財市場と要素市場との識別

# 政策立案への糸口

わが国における状況は、米国（その他）と似た点もあるが、明らかに異なる点も多い。

- 国内の集中度が（多少の違いはあれ）高まっている（※1）
  - わが国では、製造業にその傾向が顕著
- わが国では、MKが低迷している。
  - 米国（その他）ではMKの格差が拡大している。
  - 一方で、わが国では、MKの格差が拡大しているようには見えない。